

心がおどる 笑いがたえない!

大藏流 狂言

～狂言にふれる～

【鬼瓦】

【千鳥】

入場
無料

～出演者紹介～

小梶 直人

(野田市在住)

©2026 国東薫

【日 時】 令和8年 **12月20日(日)** 14時～15時15分(開場13時15分)

【内 容】 プロの能楽師による公演と狂言の解説

【場 所】 興風会館 大ホール(千葉県野田市野田 250)

【定 員】 450名(全席自由)

【申 込 み】 郵便はがきに①～⑤をご記入の上、郵送にてお申込みください(先着順)

①狂言鑑賞希望 ②代表者氏名(ふりがな)

③住所 ④電話番号 ⑤参加人数

送り先: 〒278-0037 野田市野田 250 公益財団法人 興風会

申込締切 12月12日(土) ※定員に達し次第募集終了(当会のホームページでお知らせします)

定員に達し、鑑賞できない方のみお電話でお知らせします。それ以外の方は、直接会場にお越しください。

【出 演 者】 能楽師狂言方大藏流 小梶直人(野田市在住)

吉田信海 富田正美

【主 催】 公益財団法人興風会 問 TEL 04-7122-2191

【共 催】 大藏流吉次郎狂言会

【後 援】 野田市 野田市教育委員会

狂言とは・・・日本の伝統芸能の一つで**650年**前から続くセリフ中心の喜劇(コメディ)です!
登場人物のちょっとした間違いを面白おかしく表現します! 狂言は国語の教科書でも扱われており、小学生でも楽しくご覧いただけます。笑いがたえない「狂言」をぜひご鑑賞ください!

【演 目①】 鬼瓦 (おにがわら)

【あらすじ】 都での単身赴任を終えて国へ帰る準備をしている田舎大名。お礼参りにと、召使の太郎冠者と連れ立って出かけた薬師様のお堂の鬼瓦を見て故郷に残した妻を思い出します。さて、そのリアクションやいかに? 狂言らしい、とてもハートフルなお話です。

【演 目②】 千鳥 (ちどり)

【あらすじ】 酒を一樽買って来いと命じられ酒屋に向かった召使・太郎冠者ですが、ツケが溜まっていることを理由に断られてしまいます。しかし、酒屋の亭主が話好きなのを知っている太郎冠者。先日見物した「尾張の津島まつり」の様子を面白おかしく語って聞かせ、油断した際に酒を持って帰ろうとします。果たして上手くいくのでしょうか?

